



シグネチャー® WDG



新しいストレスガード製剤技術を

● 粒の大きい新製剤で粉立ちを軽減

製品

● ピシウム病・炭疽病に対する高い予防効果

夏に起きるベントグラスの落ち込み

～サマーディクライン～

サマーディクラインの原因

非生物ストレス

- 過剰な太陽光線
- 乾燥
- 過湿
- 高温
- 踏圧 など

生物ストレス

- 藻類
- コケ
- 病害
 - ・ピシウム病
 - ・炭疽病 など

※虫害は除く。

ベントグラスにおいて、高温多湿条件が続くと・・・

芝の健全性の喪失

芽数の減少

(藻類・スズメノカタビラ等の侵入)

ピシウム病などの病害発生

枯死



藻類の発生、黄化、褐色化



各種病害の発生



枯死

【地上部】

過剰な太陽光・高温により光合成が減少し、光呼吸が増加する。

- エネルギー消費が増加
- 炭水化物貯蔵物が減少



【地下部】

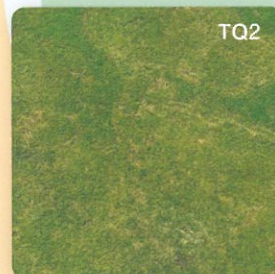
地温が上昇すると、根での呼吸速度が増加する。土壌中の酸素レベルが低く、非効率な無気呼吸を行なう。

- 炭水化物貯蔵物が減少
- 根量の減少

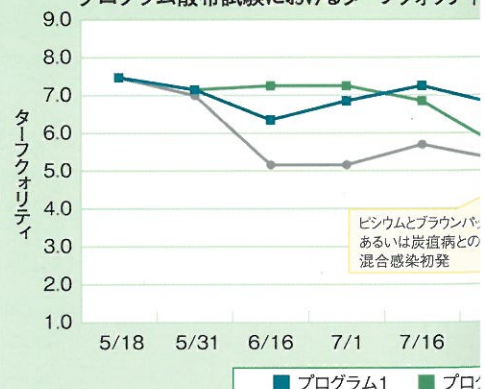
ターフクオリティ

色調、密度、均一性、葉幅、病害に非生物ストレスによる被害程度を総合的に判断した数値。

*ターフクオリティ(TQ): 9=最良
6=許容レベル
1=枯死



プログラム散布試験におけるターフクオリティ

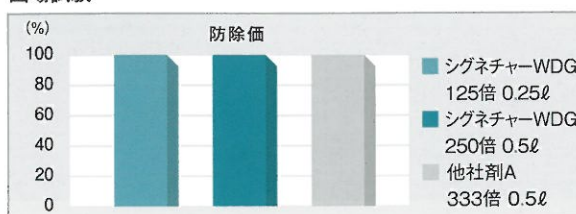


ピシウムとブラウンバヤあるいは炭疽病との混合感染初発

ピシウム病に対する効果

最も効果が高いとされる薬剤と比較しても同等またはそれ以上の効果を発揮。

圃場試験



試験場名	東日本グリーン研究所
試験場所	程ヶ谷カントリークラブベントグラスナーセリー
対象病害虫発生状況	中 ※無処理の発病面積率 11%
耕種概要	クリーピングベントグラス(品種:ベンA-1) ナーセリー
区制	1区4㎡ 2連制
処理年月日・方法	平成20年7月5日 供試薬剤を所定量の水で希釈し、園芸用ジョロで散布
調査月日・方法	7月18日に発病面積率を目測で求め、防除価を算出

取り入れた シグネチャー®WDG

特長

- プログラム散布により夏場のベントグラス病害発生を抑制
- 散布後の芝の美しい仕上がり

殺菌剤の予防散布の重要性

る被害程度、

TQ8.5:
きめが細かく、
葉も細く、
均一性に
優れている。

夏場の病害は
回復に時間を要する / または回復できない

病徴が現れる前に病原菌は活動し、
その密度を徐々に上げている

ほとんどの殺菌剤は
予防の方が効果が高い

更に、薬剤の効果を引き出すための基礎として…

多系統薬剤間の
ローテーション散布
(耐性菌対策)

的確な病害診断による
散布薬剤選定

より良い
耕種的手法の導入

以上、すべてが予防散布の重要なポイントとなります。

関東ゴルフ場A

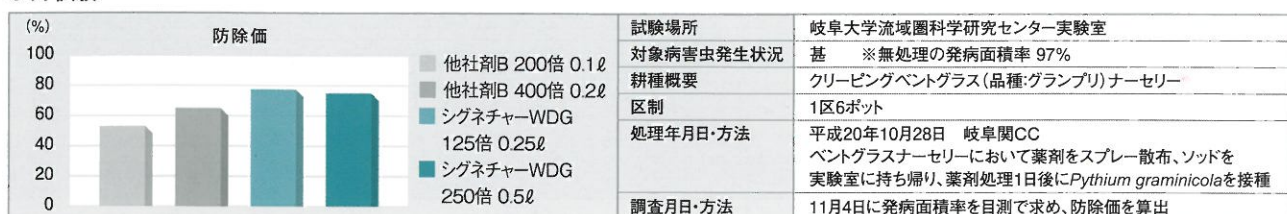


プログラム散布試験における病害の予防 関東ゴルフ場A

散布実施日	5/18	5/31	6/16	7/1	7/16	8/3	8/18	9/1	9/15
プログラム1 (ストレスガード製剤8回)		● プロテクト WDG ● ミラージュフロアブル	● 他社剤 A ● シグネチャー WDG	● ミラージュフロアブル ● プロテクト WDG	● 他社剤 A ● シグネチャー WDG	● シグネチャー WDG ● デイケートフロアブル	● プロテクト WDG ● ミラージュフロアブル	● シグネチャー WDG ● デイケートフロアブル	● ミラージュフロアブル ● プロテクト WDG
プログラム2 (ストレスガード製剤3回)	● プロテクト WDG	● 他社剤 A	● プロテクト WDG	● ミラージュフロアブル	● ロファールフロアブル	● シグネチャー WDG	● デイケートフロアブル	● シグネチャー WDG ● デイケートフロアブル	● 他社剤 A
(2010.9.1)									

※ミラージュフロアブル: 2012年上市予定ストレスガード技術製剤

ポット試験



適用病害及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ホセチルを含む農薬の総使用回数
西洋芝 (ベントグラス)	赤焼病 ピシウム病	125倍	発病初期	8回以内	1㎡あたり0.25ℓ散布	8回以内
		250倍			1㎡あたり0.5ℓ散布	

- 種類：ホセチル水和剤
- 性状：青緑色水和性細粒
- 名称：シグネチャーWDG
- 人畜毒性：普通物(右図参照)
- 有効年限：3年
- 荷姿：1kg×10袋
- 有効成分の種類及び含有量：ホセチル 79.4%
- その他の成分の種類及び含有量：界面活性剤、鉱物質微粉等 20.6%

〈人畜毒性〉

急性毒性	急性経口	ラット(♀)	LD ₅₀ >2,000mg/kg
	急性経皮	ラット(♂♀)	LD ₅₀ >2,000mg/kg

〈水産動植物への影響〉

水産動植物	コイ LC ₅₀	137mg/L (96時間)
	オオミジンコ EC ₅₀	129mg/L (48時間)
	藻類 ErC ₅₀	15.3mg/L (0-72時間)

安全使用上の注意

●誤飲、誤食に注意。●散布液調製時及び散布時には保護メガネを着用して薬液が目に入らないように注意。目に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける(刺激性)。使用後は洗眼する。●体調の悪い時、妊娠中、飲酒後等は取扱い及び作業をしない。●使用量、使用時期、使用方法を守る。特に初めて使用する時は、病害虫防除所関係機関の指導を受けることが望ましい。

効果・薬害等の注意

●散布液を調製する場合、本剤の一部が水面に浮くことがあるので十分攪拌する。●散布液調製後できるだけ速やかに散布する。●夏期高温時に連用散布すると薬害(黄化)を生ずる恐れがあるので注意すること。●本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。●公園などで使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中及び散布後(最小限その当日)に関係者以外は立ち入らせない。小児、人畜等に留意する。

保管…密封し、直射日光を避け、食品と区別して冷蔵・乾燥した所(高温・吸湿しやすい条件下では、物理的性状が劣化するおそれがある)

○他の農薬と混用する場合は本製品を最後に投入してください。○使用前にはラベルをよく読んでください。○ラベルの記載内容以外には使用しないでください。○本剤は小児の手の届くところには置かないでください。 ※空容器は圃場に放置せず、環境に影響のないように適切に処理してください。



PROTECTING
TOMORROW
...TODAY

バイエルクロップサイエンスでは、将来の世代のニーズを損なうことなく現世代のニーズを満たす、『持続可能な発展』のため、Protecting Tomorrow...Todayをモットーに ①人の健康と福祉、②自然との共存、③市場・社会とのパートナーシップを柱として様々な活動を実施しています。



- シグネチャーWDGはプログラム散布によってターフクオリティを維持し、通常治療に必要とされる薬剤・資材・水の総使用量の軽減につながります。
- 芝の健康を維持することで二酸化炭素の減少に寄与します。
- シグネチャーWDGは他剤とのプログラム散布により美しいターフの維持を可能とします。プレーヤー、スタッフ、オーナーに適切な環境を提供します。
- サマーディクラインに対する新しいソリューションを提供します。
- シグネチャーWDGは新しい顆粒水和剤で粉立ちが少なく、作業者にも配慮しています。

代理店名

バイエルクロップサイエンス株式会社
エンバイロサイエンス事業本部
〒100-8262 東京都千代田区丸の内1-6-5
www.bayercropscience.co.jp